

歴史かふえ 第13回

江戸時代の旅人が みた和歌山

佐藤 顕

(和歌山市立博物館学芸員)

永瀬節治

(和歌山大学観光学部講師)

歴史かふえとは、歴史関係研究の専門家と一般市民が、飲み物を片手に気軽に歴史に関する話題について語り合う場です。

第13回歴史かふえのテーマは「江戸時代の旅人がみた和歌山」です。

江戸時代の和歌山市域には全国各地から多くの旅人が訪れていました。彼らは和歌山を訪れることだけを目的に旅していたわけではありませんが、わざわざ遠回りしてでも和歌山へ訪れました。それほど江戸時代の人々にとって和歌山は魅力的な場所だったのです。

今回のかふえでは、江戸時代の旅人がどのように和歌山を旅したのかを紹介し、あわせて和歌山の人々の対応や旅人を呼び込む取り組みについて紹介したいと思います。現在の和歌山の観光について考えるきっかけになればと考えています。

【日時】平成27年 2月26日(木) 13:30~15:00頃

【場所】Onomachi a (和歌山市元博労町55-2F)

【対象】一般

【参加費】500円(ワンドリンクオーダー)

【定員】20名程度(先着順) メールまたはFAXで申込み

【問い合わせ・申込み】

まちかどサテライト(地域連携・生涯学習センター内)

TEL: 073-435-5472 FAX: 073-427-7616

E-mail: machikado@center.wakayama-u.ac.jp

<http://www.wakayama-u.ac.jp/machikado/>